

学習目標	
(1) 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。 (3) 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。	
単元・題材名	学習内容
4月 <b>音読をしよう</b> ○だいじょうぶ だいじょうぶ ○図書館へ行こう ○一つの言葉から (書) 姿勢と筆記具 <b>筆者の考えをまとめて伝え合おう</b> ○動物の体と気候 ○文の組み立てに気をつけよう ○意見と理由を聞き取ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物の思いが伝わるように音読する。</li> <li>日本十進分類記号について知り、本を探すときに請求記号や本の配架を活用する。</li> <li>連想によって発想を広げて言葉を集め、詩を書く。</li> <li>毛筆と硬筆の姿勢・筆記具の持ち方を理解する。</li> <li>文章の構成を考えながら、要旨を捉える。</li> <li>文中の語句の係り方に理解を深め、意味が正確に伝わるように文の構成を考える。</li> <li>複数の発言について、意見と理由を併せて共通点と相違点を聞き取り、共通点に着目して整理する。</li> </ul>
5月 <b>物語の山場をとらえよう</b> ○世界でいちばんやかましい音 (書) 組み立て方	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語の構成を捉え、山場で起きた変化について考える。</li> <li>「しよう」の組み立て方を理解する。</li> </ul>
6月 <b>書き手の意図を考えながら新聞を読もう</b> ○新聞記事を読み比べよう ○漢字の由来に関心を持つ (書) 筆順と字形 ○立場を決めて討論をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>記事と写真との関係に注意しながら新聞記事を読み比べ、記事の書き手の意図を読み取る。</li> <li>漢字の由来について知り、漢字の四つの成り立ちを理解する。</li> <li>筆順と画の接し方を理解する。</li> <li>互いの主張とその理由を明確にしなが、計画的に討論をする。</li> </ul>
7月 ○本は友達	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書の楽しさを知り、読書の範囲を広げる。</li> </ul>
9月 ○詩を味わおう ○資料を生かして考えたことを書く ○古文を声に出して読んでみよう ○敬語を適切に使おう (書) 点画のつながり	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩を読んで、自分が感じたことが伝わるように音読する。</li> <li>資料から情報を読み取り、読み取った情報を活用して呼びかけの文章を書く。</li> <li>古文を読んで内容の大体を知り、言葉の響きやリズムを味わいながら音読する。</li> <li>敬語の種類や役割を知り、適切な使い方を理解する。</li> <li>平仮名の点画のつながりや、筆記具の動きを理解する。</li> </ul>
10月 <b>物語の良さを解説しよう</b> ○注文の多い料理店 ○不思議な世界へ出かけよう (書) 文字の中心と大きさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語の構成や表現の工夫を見つけて、作品の良さを解説する。</li> <li>構成を考え、場面の様子や人物の気持ちが伝わるように物語を書く。</li> <li>文字の中心の目安になる画があることを理解する。</li> <li>画数の少ない文字は多い文字より小さめに書くことを理解する。</li> </ul>
11月 ○意味をそえる言葉に目を向けよう (書) 行の中心とつながり <b>和の文化について調べよう</b> ○和の文化を受けつぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>文に意味を添える言葉(副助詞)の働きや使い方を理解し、文に込められた意味合いを捉える。</li> <li>文字の中心をそろえることで行の中心が整うことを理解する。</li> <li>文字相互のつながりを意識して書くことを理解する。</li> <li>複数の本や資料を、目的を意識して読む。</li> <li>伝えたい内容や目的に合わせて、資料を活用して説明する。</li> <li>二字熟語の構成について理解を深める。</li> </ul>
12月 ○熟語の構成を知ろう <b>伝記を読んで、感想文を書こう</b> ○手塚治虫 (書) 生活に広げよう ○五・七・五で表そう	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の伝記を読んで、人物の生き方について考えたことを感想文に書く。</li> <li>既習事項から自分のめあてを選んで、書き初めをする。</li> <li>言葉を吟味し俳句を作り、互いの俳句を鑑賞してそれぞれの感じ方の違いを伝え合う。</li> </ul>
1月 ○古文に親しもう ○伝えよう、委員会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>枕草子第一段と解説文を読み、昔の人の季節に対する見方や感じ方について、現代の自分たちと比べて考える。</li> <li>経験を振り返り、必要な情報を整理して、活動報告を書く。</li> <li>分かりやすいリーフレットの構成を考える。</li> </ul>
2月 <b>わたしたちとメディアとの関わりについて考えよう</b> ○テレビとの付き合い方 ○六年生におくる字をすいせんしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>例と意見との関係に注意して筆者の考えを読み取り、自分と身の回りのメディアとの関わりについて考える。</li> <li>推薦するものの良さについて、聞き手が納得するように、構成を工夫して話す。</li> <li>話し手が伝えたい良さについて、納得できるか考えながら聞く。</li> </ul>

	<p><b>朗読で発表しよう</b>  ○大造じいさんとがん  (書)まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現に着目して人物の心情を捉え、人物の心情が表れるように朗読する。</li> <li>・五年で学習したことをまとめる。</li> </ul>
<p>3 月</p>	<p>○わたしの文章見本帳を作ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書いた文章を読み返し、文章の種類や表現について話し合う。</li> </ul>

評価の観点

【関心・意欲・態度】

国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする。

【話す・聞く態度】

目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりしている。

【書く能力】

目的や意図に応じ、考えた事などを文章全体の構成の効果を考えて文章に書いている。

【読む能力】

目的に応じ、内容や要旨をとらえながら本や文章を読んでいる。

【言語についての知識・理解・技能】

伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いている。

評価の方法

学習用具の準備、活動の様子、発言、ノート、ワークシート、作品、テストなど